

令和6年度

事業報告書

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

社会福祉法人

海田町社会福祉協議会

令和6年度事業実施報告

1 はじめに

海田町においては、地域共生社会推進に向けた事業等を進めつつ、防災体制強化や防災意識の向上、子育て世帯等への支援に取り組まれています。

本会においても、第4次地域福祉活動計画に基づき、地域共生社会の実現に向けて、生活支援体制整備事業との連携を図りながら地域課題の把握を行うとともに、新規ボランティアグループ立上げに向けた取組を進めました。また、ボランティア人間塾において地域福祉の仕組みづくりについて住民との意識共有を行いました。

生活が困窮している世帯等に対しては、「くらしの安心・サポートセンター」において、当事者や家族からの様々な相談に応じ、課題の解決に向けた支援に努めました。生活福祉資金の貸付事業では、コロナ特例貸付の借受者へのフォローアップ支援を行いました。

また、令和6年度新たに受託した「重層的支援体制整備事業」については、複雑化・複合化した地域住民の支援ニーズに対応するため、包括的な支援体制の整備として重層的支援会議での情報共有や相談窓口「ひまわりキャッチ」の周知に努めました。

さらに、心配ごと相談や福祉なんでも相談のほか、スマホサポートボランティアによる相談会を定期的実施し、相談窓口の拡充に努めました。

障がい者（児）に対する支援では、引き続き「障害者相談支援センター」において、本人や家族等の意思を尊重した相談支援の充実に努めました。

ひのうらセンターの管理運営については、センター利用団体を対象とした会議を開催し、センターの利用促進や地域共生社会推進に向けた情報共有を行いました。

また、前計画の期間終了に伴い、国の動向や地域福祉をめぐる状況の変化等を踏まえた取組を進めるため、第5次海田町地域福祉活動計画（令和7～11年度）を策定しました。

2 重点的な取組

1 つながりとふれあいのある地域づくり

(1) 地域活動によるつながりを強める

☆生活支援体制整備事業の運営

いきいきサロン等への訪問や福祉委員からの聴取りを行い、地域の課題分析や地域の課題解決に向けた取組を行うとともに、協議体委員会を開催し情報共有を行いました。

☆ふれあいいきいきサロン事業の充実

「いきいきサロン応援ガイド」を活用し、福祉委員等の地域で活動される方への支援を行うとともに、レク用品の貸出、出前講座の紹介、助成金の交付を行いました。

☆見守り訪問活動推進事業の充実

見守り訪問活動あんしんガイドの活用や助言等を行うとともに、他自治会の活動紹介や助成金の交付等により、継続的に支援しました。

☆地域支え合い活動支援のあり方検討

かがやき人（住民福祉協議会）を開催し、自治会の存続が困難な状況における地域の担い手不足をテーマに現状の把握とその解決策について情報共有を進めました。

(2) 地域福祉活動の担い手の確保・育成を進める

☆ボランティア人間塾の充実

町内で活躍されている方から地域福祉活動の取組について学ぶことにより、地域共生社会に向けた機運を醸成しました。その他、防災活動や国際活動のほか、傾聴講座から立ち上がったボランティアグループに活動を報告いただき、活動の歩みについて情報共有を行いました。

(3) 支え合いのネットワークづくりを進める

☆福祉委員会の内容充実

福祉委員同士のネットワークを活かし、いきいきサロン事業や見守り訪問活動が一層活発になるよう、福祉委員会における情報交換・交流や研修内容の充実を図りました。

☆小規模社会福祉法人ネットワークづくり

災害時に物資等の協力・連携して対応できるよう、相互支援体制ネットワーク「広島さっそくネット」の取組の関係づくりを進めました。

2 みんなが安心して暮らせる地域づくり

(1) 高齢者、障がい者などへの社会的支援を充実する

☆重層的支援体制整備事業の運営

「高齢」「障がい」「子ども」「生活困窮」など分野別に分かれていた既存の相談支援体制等の取組を活かし、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するための窓口体制を強化しました。

☆権利擁護事業の充実

認知症高齢者の増加等に対応するため、福祉サービス利用援助事業（かけはし）の充実を図るとともに、法人後見事業の立上げ準備に取り組みました。

☆障害者相談支援センターの運営

障がいに関する様々な相談に応じるとともに、個々のニーズに沿ったサービスを利用するための計画を作成し、サービス調整等を行いました。

(2) 孤独・孤立化している人への支援を充実する

生活困窮者への支援を行う「くらしの安心・サポートセンター」や緊急小口資金・総合支援資金等の貸付、フードバンクとの連携による緊急一時食品提供事業など、孤独・孤立化している人への支援を充実しました。

(3) 地域の防災対策を充実する

災害ボランティア事前登録制度の活用のほか、ボランティア人間塾において防災における講演会等を行い、地域住民の防災意識の高揚を図りました。

3 支え合いの輪を広げる仕組みづくり

(1) 福祉教育・学習を進める

ボランティアグループによる町内小・中学校への福祉授業の出前、手話奉仕員養成講座の開催により、福祉人材の育成に努めました。

(2) ボランティア活動の活性化

ボランティア活動のすそ野を広げるため、ボランティアの募集・登録を進めるとともに、スマホサポートボランティアへのフォローアップや傾聴ボランティア、花壇緑化ボランティアのグループ化に向けた支援を行いました。

(3) 分かりやすい情報の発信

ホームページにおいてタイムリーな情報発信を行うとともに、インスタグラムを開設し、より様々な年代の方へ情報が届くようSNSを活用した情報発信を行いました。

3 主な取組

(1) 当事者・家族の組織化・支援

① 高齢者

- ふれあいいきいきサロンや見守り訪問活動の充実・発展を図りました。
 - ◇ふれあい上映会等ボランティアグループの活用促進
 - ◇貸出物品の利用促進，出前講座の実施・啓発
 - ◇活動助成金の交付
- 一人暮らし及び高齢者世帯等の在宅生活を支援するため，必要な各種サービス・事業を実施しました。
 - ◇介護器具貸出サービス事業の実施
 - ◇福祉車両貸出サービス事業の実施
 - ◇訪問理美容サービス事業の実施
 - ◇寝具洗濯乾燥消毒サービス事業の実施
 - ◇福祉サービス利用援助事業（かけはし）の実施
 - ◇手作り弁当を囲んだ交流会の開催
- 様々なニーズに対応する支援・研修等を行いました。
 - ◇介護者の集いの実施
- SNS活用に伴うニーズ対応や高齢者の活動の場づくりを行いました。
 - ◇スマホ相談会の実施

② 障がい者（児）

- 障害者相談支援センターを通じ，本人・家族等の要望に応じた支援ができるよう相談体制を充実しました。
 - ◇障がい者（児）や家族への相談対応，福祉サービスの情報提供及び利用調整
 - ◇障がい者（児）に対するサービス利用計画作成・モニタリングの実施，サービス担当者会議の開催
- 障がい者（児）の在宅生活を支援するため，必要な各種サービス・事業を実施しました。
 - ◇介護器具貸出サービス事業の実施
 - ◇福祉車両貸出サービス事業の実施
 - ◇訪問理美容サービス事業の実施
 - ◇福祉サービス利用援助事業（かけはし）の実施
 - ◇手話奉仕員養成事業の実施

③ 児童・青少年・ひとり親家庭等

- 福祉教育推進校等による体験学習を通じて、福祉の心を育てるとともに、高齢者や障がい者とのふれあいを大切にし、ボランティア活動を通じて社会の一員としての自覚と相互扶助の精神を育成しました。
 - ◇福祉教育推進校の指定（公立小・中学校 計6校）
 - ◇小・中学校への体験学習の出前
 - ◇手作り弁当を囲んだ交流会の開催
 - ◇交通遺児就学奨励金給付事業の実施
 - ◇高等学校・専門学校との連携協働事業（ボランティア活動・福祉授業）

④ 生活困窮者

- 暮らしの安心・サポートセンターにおいて、生活困窮者（世帯）等に対し、生活の自立を図ることを目的とした相談支援を行いました。
 - ◇自立相談支援事業の実施
 - ◇就労準備支援事業の実施
 - ◇家計改善事業の実施
 - ◇住居確保給付金の申請手続きの支援
 - ◇支援調整会議の開催
 - ◇ネットワーク協議会の開催
 - ◇支援担当者会議（つながりネットひまわり会）の開催
- 生活困窮者（世帯）等に対し、生活の自立を図ることを目的とし貸付等を行いました。
 - ◇生活福祉資金貸付事業の実施（緊急小口資金・総合支援資金等）
 - ◇生活福祉資金（コロナ特例貸付）フォローアップ事業の実施
 - ◇高額療養費貸付事業の実施
 - ◇善意銀行の実施
 - ◇法外援護の実施
 - ◇緊急一時食品提供事業
- 様々な困りごとに対する相談対応を行いました。
 - ◇福祉なんでも相談窓口の開設
 - ◇心配ごと相談事業の実施

(2)地域住民の啓発と組織化

① ボランティア育成

- 地域福祉や防災等をテーマとしたボランティア講座を開催し、福祉ニーズに対応できるボランティアの育成に努めました。
 - ◇ボランティア人間塾の開催

- ボランティア（グループ・個人）の育成に努めるとともに、ボランティア同士のネットワークを広げ、交流の輪を広げました。
- ◇ボランティアセンター運営委員会の開催
- ◇ボランティアグループ連絡会の開催
- ◇ボランティア出前活動等の需給調整
- ◇ボランティア活動助成金の交付
- ◇新規ボランティアグループ立上げ（傾聴、花壇緑化）

② 地域福祉の推進

- 福祉委員活動の拡充に努め、福祉課題の分析に努めました。
- ◇福祉委員会の開催
- ◇福祉委員への情報提供、相談体制の強化と課題解決支援
- ◇地域福祉推進連絡会の開催
- ◇自治会への助成金の交付
- 生活支援体制整備事業において、自治会への訪問や来所による聴取り等を行い、地域の生活課題に住民自らが協働して助け合える体制づくりを支援しました。
- ◇生活支援体制整備事業協議体委員会の開催
- ◇かがやき人（住民福祉協議会）の開催
- 住民に分かりやすい情報を発信し、ボランティア活動の啓発と福祉意識の醸成を図りました。
- ◇ホームページの運営
- ◇社協だより・ボランティア通信の発行
- 「スマイルフェスタinかいた」をひのうらセンターで開催することにより、新たな地域活動の拠点としてアピールするとともに、地域の方々へ福祉やボランティア活動について周知しました。
- 「社協バザー」を開催し、各家庭で眠っている品物を有効活用し、廃棄物を削減するとともに、社協の自主財源確保に努めました。

(3) 社協基盤の整備

- 法令を遵守した適正な社会福祉法人の運営
- 事業運営体制の充実
- 自主財源の運用及び確保
- ◇財政調整積立預金の活用

- 被災者生活サポートボラネット委員やボランティアセンター運営委員を中心とした災害支援活動体制の充実
 - ◇被災者生活サポートボラネット推進会議の開催
 - ◇災害ボランティア事前登録制度の活用・充実
 - ◇町防災課との連携体制の構築（防災士ネットの立上げ支援）
- 職員に対する研修の実施
- 海田町社協パンフレットの作成・配布
- 共同募金事業及び日本赤十字社事業への協力

(4)ひのうらセンターの管理運営

- 《無償貸与期間》 令和6年4月1日～令和7年3月31日（1年更新）
- 地域共生社会推進団体へ活動の場を提供するとともに、センター利用団体調整会議の開催により利用者間の連帯感を高め、地域に開かれた施設の管理運営を行いました。
 - ボランティアグループの活動拠点を設け、ボランティア活動の継続と活性化を支援しました。
 - ホームページやインスタグラム等によるタイムリーな情報を発信するとともに、花壇緑化ボランティア活動の様子を館内へ掲示し親しみのある施設管理に努めました。
 - ロビーで行う障がい事業所の販売コーナー「ほっくのお店」を近隣の公共施設等へ周知し、地域の賑わいづくりに努めました。

令和6年度 理事会・評議員会開催状況

(会場：ひのうらセンター)

※第1回理事会のみ織田幹雄スクエア

開催年月日 出席者数	会議名	付 議 事 項 等
R6. 6. 6 11名/12名	第1回 理事会	議案第1号 令和5年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会 事業報告及び決算について 議案第2号 令和6年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会 補正予算（第1号）について 議案第3号 令和6年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会 第1回評議員会の開催について
R6. 6. 25 16名/25名	第1回 (定時) 評議員会	議案第1号 令和5年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会 事業報告及び決算について 議案第2号 令和6年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会 補正予算（第1号）について
R6. 12. 11 9名/12名	第2回 理事会	議案第4号 社会福祉法人海田町社会福祉協議会職員給与規 程の一部改正について 議案第5号 令和6年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会 補正予算（第2号）について 議案第6号 令和6年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会 第2回評議員会の開催について
R6. 12. 26 16名/25名	第2回 評議員会	議案第3号 令和6年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会 補正予算（第2号）について

開催年月日 出席者数	会議名	付 議 事 項 等
R7. 3. 14 11名/12名	第3回 理事会	議案第7号 社会福祉法人海田町社会福祉協議会定款の変更 について 議案第8号 社会福祉法人海田町社会福祉協議会善意銀行債 権放棄について 議案第9号 社会福祉法人海田町社会福祉協議会臨時職員就 業規則等の一部改正について 議案第10号 社会福祉法人海田町社会福祉協議会障害者相談 支援センター運営規程の一部改正について 議案第11号 第5次海田町地域福祉活動計画について 議案第12号 令和7年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会 事業計画及び収支予算について 議案第13号 重要な役割を担う職員の選任及び人事異動の件 について 議案第14号 令和6年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会 第3回評議員会の開催について
R7. 3. 24 18名/25名	第3回 評議員会	議案第4号 社会福祉法人海田町社会福祉協議会定款の変更 について 議案第5号 社会福祉法人海田町社会福祉協議会善意銀行債 権放棄について 議案第6号 令和7年度社会福祉法人海田町社会福祉協議会 事業計画及び収支予算について

令和 6 年度 会 員 加 入 状 況

世帯数 ; R6. 8現在

自治会名	世帯数	賛助 会員数	戸別 会員数	金額 (円)	令和 5 年 度	
					会員数	金額 (円)
上 貫 市	140		105	31,500	104	31,200
一 貫 田	48		35	10,500	35	10,500
中 店	191		100	30,000	99	29,700
新 町	236		196	58,800	194	58,200
稲 荷 町	214		143	42,900	141	42,300
窪 町	305		143	43,000	143	43,000
大 正 町	468		163	48,900	174	52,200
南 大 正 町	533		0	0	0	0
日 の 出 町	257		60	18,000	66	19,800
南 昭 和 町	550		231	69,400	219	65,600
昭 和 中 町	330		175	52,500	180	54,000
曙 町	349	1	1	1,000	133	40,000
東 昭 和 町	370		193	57,900	202	60,600
昭 和 町	190		96	28,800	104	31,200
市 頭	78		53	15,900	52	15,600
サンシティ海田昭和町	88		38	11,440	38	11,440
成 本	165		161	48,300	163	48,900
石 原	97		96	28,800	96	28,800
山 畝	45		30	9,000	32	9,600
畝	230		111	33,400	105	31,500
上 畝	59		59	17,700	61	18,300
砂 走	350		267	80,000	267	80,000
国 信	543		167	50,000	167	50,000
蟹 原	667		300	90,000	310	93,000
稲 葉	285		165	49,500	170	51,000
寺 迫	569		255	76,500	227	68,100
浜 角	160		110	33,000	110	33,000
県営東海田住宅	31		31	9,300	31	9,300
つくも県営	121		67	20,000	67	20,000
南つくも町	32		32	9,600	32	9,600
南堀川町	160		0	0	0	0
栄 町	123		47	14,100	47	14,100
ディーレスティア海田	61		61	18,300	61	18,300
月見県営	100		80	24,000	83	24,900
つくも町県警	30		24	7,200	26	7,800
南 本 町	160		103	30,800	148	44,400
南 幸 町	828		372	111,600	425	127,508
大 立 町	335		267	80,000	267	80,000
西 浜	327		150	45,000	200	60,000
幸 町	303		100	30,000	100	30,000
汁 免	518		257	77,000	268	80,460
あ さ ひ	100		91	27,300	90	27,000
東	357		300	90,000	300	90,000
西	569		347	104,100	364	109,100
町外在住者		1	-	5,000	1	5,000
小 計	11,672	2	5,781	1,740,040	6,101	1,835,008

令和6年度 団体会員加入状況

(順不同, 敬称略)

企 業 名 等	金額 (円)	企 業 名 等	金額 (円)
NPO法人 安芸ソーシャルサポートの会	3,000	天宝商事(株)	3,000
医療法人 秋本クリニック	3,000	道祖園(株)	3,000
イチマ歯科医院	3,000	富永商事(株)	3,000
稲垣歯科医院	3,000	中川書店	3,000
(株) 植田商店	3,000	長田吉勝税理士事務所	3,000
かいた駅前歯科	3,000	(株) 中友	3,000
海田なかよし実習所	3,000	長畑歯科医院	9,000
海田みどり幼稚園	3,000	(株) にこら	3,000
海田よつ葉クリニック	3,000	日本基準寝具株式会社	3,000
河島脳外科クリニック	3,000	(有) 乗重設備	3,000
おおや耳鼻咽喉科	3,000	医療法人博和会 平田歯科医院	3,000
医療法人 海田ゆめぞら歯科	3,000	原小児科	3,000
片桐整形外科	3,000	ひまわり印刷(株)	3,000
(有) かとう花店	3,000	広島安芸商工会	3,000
カルム洋菓子店	3,000	広島あさひライオンズクラブ	3,000
医療法人 菊川皮ふ科医院	3,000	広島ガスプロパン(株)	3,000
医療法人社団 岸本医院	3,000	ひろしま農業協同組合海田市支店	3,000
(株) きむら	3,000	広島海苔(株)	3,000
(株) キーレックス	3,000	ふくやま保険事務所	3,000
くすのき薬局	3,000	(株) フジ 海田店	3,000
倉本鉄工(株)	3,000	松川建設(株)	3,000
(福) 見真会	3,000	松橋印刷株式会社	5,000
医療法人 宏博会	3,000	放課後等デイサービス未来教室	3,000
小さくら保育所	3,000	医療法人 みぞて眼科	3,000
(株) シーエル広島	3,000	南海田病院	3,000
学校法人真證学園 東海田幼稚園	3,000	森原内科胃腸科医院	3,000
(福) 慈楽福祉会 海田じらく房	3,000	山本整形外科病院	3,000
新生物流サービス(株)	3,000	ヨシワ工業株式会社	3,000
(福) 住田学園福祉会 さいわい保育園	3,000	(株) リアルウエスト	3,000
(福) 創絆福祉会	3,000	(株) レール	3,000
太陽の花 広島訪問鍼灸治療院	3,000	(株) ワイテック	3,000
(株) 竹野内建設	3,000		
59件		197,000円	

一般会費	賛助会費	1,740,040円
団体会費		197,000円
合 計		1,937,040円

一般会費：目安額300円 賛助会費：目安額1,000円 団体会費：目安額3,000円

令和6年度事業実施概要

1 当事者・家族の組織化・支援

1 ふれあい・いきいきサロン事業

高齢者・障がい者（児）及び児童などの社会参加と交流の場をつくっている自治会に対し、助成金の交付やレク用品の貸出、ボランティア派遣、情報提供などにより支援しました。

団体数	33団体
助成額	1団体 20,000円（年額）

2 見守り訪問活動推進事業

高齢者及び障がい者（児）等で見守りが必要と思われる世帯を訪問し、地域社会における見守りネットワークづくりを行っている自治会に対し、助成金の交付などにより支援しました。

団体数	25団体
助成額	1団体 10,000円（年額）

3 ふれあい上映会事業

映画の視聴を通して仲間づくりやふれあい交流等を行い、心の通う地域福祉を推進することを目的として、ふれあい・いきいきサロンなど、申請された希望場所にボランティアグループが機材を運び映画を上映しました。

団 体 数	18団体
出 前 回 数	32回
	(5/29 市頭サロン) (10/2 南昭和町サロン)
	(6/19 西サロン) (10/7 成本わかば会)
	(7/11 あさひサロン) (10/20 上畝サロン)
	(7/17 南幸町サロン) (11/27 市頭サロン)
	(7/22 昭和中町サロン) (12/15 稲葉子ども会)
	(7/31 市頭サロン) (1/17 西サロン)
	(8/5 大立町サロン) (1/23 つくも県営サロン)
	(8/18 百組寿サロン) (1/29 市頭サロン)
	(8/21 南幸町サロン) (2/3 大立町サロン)
	(8/23 西サロン) (2/13 汁免さわやかクラブ)
	(9/2 幸町サロン) (2/19 南幸町サロン)
	(9/9 JA東海田店) (2/21 曙町サロン)
	(9/11 東サロン) (3/3 幸町サロン)
	(9/16 窪町サロン) (3/17 昭和中町サロン)
	(9/25 市頭サロン) (3/20 つくも県営サロン)
	(9/26 つくも県営サロン) (3/26 市頭サロン)
利 用 者 数	668人

4 介護器具の貸出

在宅介護を必要とする高齢者・障がい者（児）に対し、介護の負担や日常生活の支障を少しでも軽減することを目的として、介護器具の貸出を行いました。

器 具 名	所 有 数	R 6 年 度 貸 出 数	R 6 年 度 返 却 数	総貸出数	在 庫 数 (3/31現在)
車 椅 子	57	49	56	44	13
杖	20	1	0	9	11
歩 行 器	3	1	0	2	1
四輪歩行車	10	8	8	6	4

利 用 料 （ 消 毒 料 ）
660円

5 気ばらし会（介護者の集い）

在宅で高齢者・障がい者（児）の介護をしている方を対象に、同じ悩みを共有する方々が交流することにより心身の疲れを癒すとともに、情報交換の場及び仲間づくりを行いました。

月 日	内 容	参加者（人）
4/17	座談会	6
5/15	座談会	6
6/19	座談会	6
7/17	ACP（私の心づもり）講座	5
9/18	座談会	4
10/16	フレイル予防で健康寿命	6
11/20	座談会	3
12/18	地域の社会資源と高齢者の制度	17
1/15	訪問看護に出来ること	12
2/19	終活講座～もしもに備えて～	14
3/19	ヨガインストラクターによる体操教室	15
合計（延べ）		94

6 福祉車両貸出サービス事業

日常的に車椅子を使用し、バスやタクシーを利用することが困難な方に、福祉車両の貸出を行い、外出の支援を行いました。

登 録 者	42人
年間利用件数	延べ62回
利用者負担	使用した燃料

7 海田高校生「手づくり弁当交流会」

地域で生活される70歳以上のみの世帯の方を対象に、海田高等学校生徒が手作りしたお弁当を囲んで交流会を行いました。

地域内での高齢者の孤立感を緩和するとともに、生徒においても世代間交流を通じて福祉意識の向上を図り、豊かな心を育成しました。

会 場	海田高等学校 海翔館食堂	
開 催 日	2/6	2/14
参 加 者	19人	20人
家政科生徒	31人	32人
役 員	1人	1人

8 福祉教育推進校事業

小・中学校の児童や生徒の社会福祉への理解と関心を深め、地域連帯の精神を養うとともに、ボランティア活動を通じて地域社会の活性化を図り、心の通う地域づくりを推進するため、助成金の交付や出前授業などを行いました。

指 定 校	海田小学校, 海田東小学校, 海田西小学校, 海田南小学校 海田中学校, 海田西中学校
助 成 額	1校 50,000円(年額)

・福祉教育推進校連絡会議

開催日	6/26
-----	------

・福祉出前講座等

	月日	内 容	学校名	学 年	生徒数
1	6/10	高齢者疑似体験	海田西小学校	4年生	35人
2	7/12	点字体験	海田東小学校	4年生	87人
3	9/12	手話体験	海田東小学校	4年生	92人
4	9/13	点字体験	海田小学校	3年生	58人
5	9/17	ボランティアとの交流	海田西小学校	4年生	35人
6	9/27	車椅子体験	海田小学校	3年生	60人
7	10/7	車椅子・白杖体験	海田東小学校	4年生	86人
8	10/17	高齢者疑似体験	海田南小学校	3年生	61人
9	10/22	高齢者疑似体験	海田南小学校	3年生	62人
10	10/30	手話体験	海田小学校	3年生	63人
11	11/13	点字体験	海田南小学校	3年生	122人
12	12/2	社協の仕事	広島福祉専門学校	1年生	14人
13	12/13	ボランティアとの交流	海田西小学校	4年生	35人
14	1/28	福祉の仕事	海田中学校	1年生	190人
15	2/3	新聞作り・点字体験	海田中学校	1年生	140人
16	2/4	車椅子・朗読・手話体験	海田中学校	1年生	175人
合 計			16回	延べ 1315人	

9 手話奉仕員養成講座（受託事業）

聴覚障がい者の生活及び福祉制度についての理解と認識を深めるとともに、手話奉仕員派遣事業へ登録し活動する手話奉仕員の養成講座を開催しました。

開 催 日	7/22～1/27（20回）
参 加 者	9人（延べ127人）

10

訪問理美容サービス事業（受託事業）

町内在住の65歳以上のみの世帯及び身体障がい者並びに介護保険で要支援・要介護認定を受けた方で外出困難な方を対象として、自宅を訪問し理美容サービスを提供しました。

登 録 者	103人	
年間利用件数	延べ162回	
	1回1,000円	65歳以上のみの世帯 「身体障害者手帳」保有者
	1回1,500円	要支援・要介護認定のみ
利 用 制 限	1人年4回まで	

11

寝具洗濯乾燥消毒サービス事業（受託事業）

町内在住の65歳以上のみの世帯及び介護保険で要支援・要介護認定を受けた方に、寝具一式（上下布団・毛布）の洗濯・乾燥・消毒を行い、衛生的な在宅生活の支援を行いました。

	掛布団	敷布団	毛 布	利用者
利用件数	111枚	60枚	83枚	延べ97人
負担金	300円	300円	50円	
利用制限	1人年2回まで			

12

障害者相談支援センター（受託事業）

障がいのある人等からの福祉に関する様々な問題について相談に応じ、必要な情報の提供を行うほか、障がい者（児）を支援するサービス利用計画を作成しました。

相 談 件 数	281件
契 約 者 数	77人

計 画 作 成 数	81件
モ ニ タ リ ン グ	148件

生活に困窮されている方等の相談に応じ自立に向けた相談支援を行うとともに、就労につながるよう関係機関の連絡調整や家計改善に向けた支援プラン（計画）の策定により、本人の課題解決に向けた支援を行いました。

また、必要に応じて生活福祉資金貸付機関等との連携を図りました。

・相談件数

相談件数	相談件数の内、新規相談及び支援申込件数	
	新規相談件数	支援申込件数
1, 1 7 2 件	7 6 人	4 2 人

・支援プラン策定件数

新規プラン策定件数	再プラン策定件数
1 4 件	3 8 件

※ 本事業では、策定した支援プランをもとに支援を行います。

計画期間終了後も支援を継続する場合、再プランを策定します。

・支援調整会議の開催

開催数	1 2 回
-----	-------

○ くらしの安心・サポート・ひきこもり相談支援ネットワーク協議会

相互に関連性のある生活に困窮されている方とひきこもりの方の課題解決に向けた支援策、地域ネットワークの構築、地域の社会資源の発掘を支援機関と関係者が相互に協議・検討する場として協議会を開催しました。

開催日	1 1 / 2 1
-----	-----------

○ つながりネットひまわり会

生活に困窮されている方とひきこもりの方の居場所・ネットワークづくりのため、支援者同士が繋がる場として現場レベルの話し合いを行いました。

開催日	8 / 2 1
	2 / 5

生活支援体制整備事業（受託事業）

高齢者の生活課題を掘り起こし，社会参加や支え合いの仕組みづくりに向けて地域資源の活用・発掘に取り組みました。

- 生活支援コーディネーターを配置し，関係機関とのネットワーク構築，情報共有等を行いました。

活 動 内 容	回 数
百歳体操・サロン等訪問	81回
研修・会議等出席	23回
社協だより等情報の発信	3回
ヒマ太君のお助け便利帳配付	200部
ニュースレター作成・配布	1回

- 生活支援体制整備事業協議体委員会を開催し，住民主体の支え合い手法や地域別の課題等について協議しました。

開催日	8/1
	2/19

- ・ 自立支援型ケア会議への参加

開催回数	12回
------	-----

重層的支援体制整備事業（受託事業）

「高齢」「障がい」「子ども」「生活困窮」など分野別に分かれていた既存の相談支援体制等の取組を活かし，地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するための窓口体制を強化しました。また，重層的支援会議において対象となるケースを整理し，必要な方への支援を行いました。

・重層的支援会議

月 日	参加者数	月 日	参加者数
4 / 26	17人	9 / 26	12人
5 / 27	10人	11 / 22	10人
6 / 24	11人	1 / 20	14人
7 / 25	11人	3 / 12	18人
合計延べ 103人			

・対象者数及び支援プラン作成件数

対 象 者 数	16人
プラン作成件数	1件

- パンフレット「ひまわりキャッチ」を作成・配布し、相談窓口の周知に努めました。

2 地域住民の啓発と組織化

1 第21回スマイルフェスタinかいだ

地域の絆を開催理念にボランティア活動の推進と普及を目的とし、同じ地域に暮らす住民の誰もがボランティアに関われるよう“住民自身が考え自ら動く”という住民主体のイベントを開催しました。

・実行委員会

月 日	参加者数	月 日	参加者数
5 / 15	6人	10 / 16	8人
6 / 19	7人	11 / 20	6人
9 / 18	8人		
合計 延べ 35人			

・参加団体説明会

月 日	参加者数
10 / 16	13人

・第21回スマイルフェスタinかいだ

開催日	11/9（土）
会場	ひのうらセンター
内 容	
ボランティア 団体の活動 紹介・体験 など	民生委員児童委員協議会，消防団女性部， あじさいの会，お楽しみ一座，おもちゃの病院， かがやき，車椅子とことこクラブ，つぼみ， 花みずき，ふれあい上映会，六ツ星，やまびこ
販売など	なかよし実習所，シルバー人材センター
参加団体	14団体
当日参加者	約200人

2 広報啓発

○ 社協だより

すべての住民が社会福祉を正しく理解するとともに，社協を身近なものと感じてもらうため広報誌を発行しました。

また，社協だより中面には，ボランティア通信として，福祉講座のご案内や講座参加者の感想，地域の情報をお伝えしました。

（年4回全戸配付）

○ 社協ホームページ・公式Instagram

インターネットの普及に伴い，タイムリーな情報発信の手段として本会のホームページと公式Instagramを運営しました。

3 地域福祉推進連絡会等

地域福祉推進連絡会を開催し，自治会長に対して本会の事業説明などを行い，協力を求めました。また，社協だよりの配付，日赤・共募・社協会費の募集等についてお願いしました。

地域福祉推進連絡会	開催日
会場：ひのうらセンター	6/14・9/19

自治会長会議での説明	開催日
会場：海田町役場	3/26（2回）

4 第5次海田町地域福祉活動計画の策定

前計画の期間終了に伴い、国の動向や地域福祉をめぐる状況の変化等を踏まえた取組を進めるため、令和7年度から令和11年度までの5年間の計画を策定しました。

内 容	回数又は期間
総務財政部会	2回
福祉委員会での意見聴取	2回
パブリックコメントでの意見募集	2/5 ～ 2/25

3 その他福祉推進の諸活動

1 ボランティア人間塾

住民にボランティア活動を始めるきっかけや、地域福祉に関心を持ってもらうことを目的として、地域活動者の体験談や、障がいへの理解などを伝える講座を開催しました。

	月 日	講 座 名	内 容	参加者
1	5/18	開講記念イベント 防災・減災に どう向き合う？ ～いま私たちが できること～	地震や水害で起こる土砂災害のメカニズムを知ることによって正しい知識と備えを学び、今の自分にできることを考えました。	40名
2	6/21	防災講習	災害時に設置し、被災者の生活サポートを行うボランティアセンター開設イメージの展示と、平成30年豪雨災害の被災者から災害への心構えを学びました。	28名
3	7/19	救急講習 ～もしもの時に 救えるように～	日本赤十字社広島県支部の派遣指導員から異物の除去、気道の確保、水難救助などを学び、心肺蘇生法やAEDの使い方を体験しました。	21名

4	9/20	地域活動 ～パート1～	認知症カフェ「オレンジライン」と「暮らしの保健室 すまいる」の活動を知り、それをヒントに自分でできる地域活動や地域つながりを考えました。	31名
5	10/18	地域活動 ～パート2～	&古民家で活動する「歌声喫茶」、子育て本舗「みなくる」、「かいたのヒマワリ屋さん」の活動から自分でできる地域活動などを考えました。	25名
6	12/20	国際活動 ～やさしい日本語～	海田町の外国人住民の統計を知り、災害情報や地域のルールを分かり易く伝える「ことば」の面からの歩み寄りの大切さを学びました。	18名
7	1/17	体験を聞こう ～そこから始まる 心地よい時間がある～	傾聴ボランティア「ひなたぼっこ」のあゆみとメンバーの想いを聞き、「コミュニケーションで大事なこと」をグループワークで考えました。	18名
8	2/21	ボランティアフォーラム ～人つながりで 楽しさ倍増！～	フォーラム形式で社協登録ボランティアグループの活動を知るとともに、活動に向けた新たな一歩を考えました。	20名
参加者合計 延べ 201人				
ボランティアスタッフ（運営委員） 内 37人				

2 ボランティアセンター関係

ボランティア活動の活性化を目指し、連絡会の開催のほかグループ及び個人ボランティアへの支援、情報提供、需給調整などを行いました。

・ボランティア連絡会（原則奇数月第1木曜日）

月 日	参加者数	月 日	参加者数
5 / 2	10人	11 / 7	9人
7 / 4	9人	1 / 9	10人
9 / 5	9人	3 / 9	7人
合計延べ 54人			

・ボランティアセンター運営委員会（原則奇数月第2火曜日）

月	日	参加者数	月	日	参加者数
5	/ 14	6人	11	/ 12	5人
7	/ 9	6人	1	/ 14	6人
9	/ 10	7人	3	/ 11	7人
合計延べ					37人

- ・ボランティア登録者数 373人
- ・ボランティアグループ登録数 13団体
- ・社協だより中面にボランティア通信を掲載 年4回 全戸配付
- ・ボランティア調整件数（上映会，紹介・相談含む） 155件
- ・レク用品等貸出件数 46件

海田町社会福祉協議会 登録 ボランティアグループ 活動一覧

グループ名	活動内容 年間助成金額	社協事業への協力	回数	定例会 及び ボランティア活動	回数
あじさいの会	一人暮らし高齢者に 手づくり新聞の発行 ・配付 10,000円	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾受講 ・スマイルフェスタ (準備・説明会を含む) ・評議員会	5 0 2 3	・定例会(親睦会を含む) ・発行(印刷を含む) ・取材(企画会議を含む) ・小・中学校福祉授業 (交流会を含む)	20 4 6 2
お楽しみ一座	民謡・おどり・腹話 術等楽しさの出前 10,000円	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾受講 ・スマイルフェスタ (説明会を含む)	4 3 2	・定例会 (親睦会・練習を含む) ・出前 (いきいきサロン) (施設) ・小学校交流会	29 4 2 1
海田おもちゃの病院	おもちゃの修理によ る子ども達との交流, イベントへの出前開 院 15,000円	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾受講 ・スマイルフェスタ (説明会を含む)	6 5 2	・定期開院 ・環境センターへ物品取集 ・イベント (海田市まつり等) ・小学校交流会	17 17 3 2
かがやき	手話ふれあい交流会, 手話出前講座, 手話 勉強会 申請なし	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾受講 ・スマイルフェスタ (説明会を含む)	6 0 2	・定例会 (練習・研修会を含む) ・ラルゴ手話教室 ・小学校交流会	33 6 2
車椅子クラブとこ	車椅子体験や高齢者 疑似体験, 白杖体験 などの出前講座 25,000円	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾受講 ・スマイルフェスタ (実行委員会・説明会を含む) ・評議員会	6 8 8 3	・定例会 (練習, その他を含む) ・小・中学校福祉授業 (交流会を含む) ・珈琲サービス (福祉センターまつり)	10 8 1
つばみ	手話ふれあい交流会, 手話出前講座, 手話 勉強会 10,000円	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾受講 ・スマイルフェスタ	3 1 1	・定例会, 練習 (懇親会を含む) ・平和学習 ・小・中学校福祉授業 (交流会を含む)	41 1 4
花みずき	特別養護老人ホーム で認知症カフェの 運営 申請なし	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾受講 ・スマイルフェスタ (説明会を含む)	6 4 2	・定例会 (認知症カフェ開催) ・小学校交流会	11 2

グループ名	活動内容 年間助成金額	社協事業への協力	回数	定例会 及び ボランティア活動	回数
ひなたぼっこ	地域や施設等での 傾聴活動 10,000円	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾受講	4 6	・定例会 ・傾聴訪問 (施設・個人宅) ・小学校交流会	10 56 2
ふれあい上映会	いきいきサロンなど への映画の出前 20,000円	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾受講 ・スマイルフェスタ (実行委員会・説明会を含む)	6 4 8	・定例会(親睦会を含む) ・出前 (いきいきサロン等) ・小学校交流会	13 32 1
ほっくガーデン	ひのうらセンター 花壇の緑化活動 20,000円	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾受講	2 5	・定例会 ・小学校交流会	7 2
六ツ星	点訳, ガイドヘルプ, 絵本作り, 出前授業, 点字勉強会 20,000円	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾受講 ・スマイルフェスタ (準備・説明会を含む) ・点訳(議会だより)	6 3 3 5	・定例会, 点訳作業 ・小・中学校福祉授業 (交流会を含む) ・点訳絵本作成 ・他町社協点字講座 講師	15 5 1 1
森のくまさん	森の工房あやめでの 作業の手伝い(精神 障がい者支援) 申請なし	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾受講 ・スマイルフェスタ	6 8 1	・定例会 ・安芸の郷理事会業務 ・森の工房あやめ作業 (親睦会・季節作業を含む) ・小学校交流会	26 2 26 1
やまびこ	紙芝居・絵本の朗読 等の出前, 朗読勉強 会 20,000円	・ボランティア連絡会 ・ボランティア人間塾受講 ・スマイルフェスタ (実行委員会・説明会を含む)	6 3 7	・定例会, 練習 ・小・中学校福祉授業 (交流会を含む) ・出前 (視覚障がい者音訳訪問, いきいきサロ, 施設等)	23 3 14
計	160,000円	(助成金交付 10/13団体)			

3 福祉委員会

福祉のまちづくりを推進し社協活動への協力や地域との調整を行うため、福祉委員会を開催しました。

福祉委員会	開催日	
	6/13	2/5

4 かがやき人（住民福祉協議会）

地域活動者が福祉課題について情報を共有するとともに、課題解決に向けた対応策を探るため意見交換を行いました。

かがやき人	開催日	
	8/28	11/27

5 被災者生活サポートボランティア推進事業

災害時の「共助（被災者生活サポートボランティア活動）」を進める町域のネットワークを強化するため、推進会議を行いました。

推進会議	開催日
	5/9

6 スマホ相談会

スマホサポートボランティアがスマホ初心者の方に操作方法等についてアドバイスをする「スマホ相談会」を開催しました。

月	日	サポーター数	相談者数	月	日	サポーター数	相談者数
4	/ 10	3 人	7 人	9	/ 5	3 人	6 人
5	/ 2	4 人	8 人	10	/ 3	5 人	11 人
5	/ 15	2 人	4 人	11	/ 7	6 人	7 人
6	/ 6	3 人	5 人	12	/ 5	3 人	7 人
7	/ 4	3 人	2 人	1	/ 16	7 人	4 人
8	/ 1	5 人	4 人	2	/ 6	7 人	12 人
8	/ 27	8 人	8 人	3	/ 7	6 人	8 人
				合計延べ		65 人	93 人

4 その他の事業等

1 心配ごと相談事業

日常生活上のあらゆる心配ごとについての相談に応じ，解決のための助言や専門機関紹介などの支援を行いました。

相談利用件数	29件	開設場所	ひのうらセンター
開設日数	24日（第2・4木曜日13時30分～16時）		
相談員	民生委員児童委員，司法書士，人権擁護委員， 学識経験者		

2 福祉なんでも相談

「サービス担当窓口がわからない」などの福祉に関する相談に応じ，関係機関を紹介するなど断らない支援に努めました。

・相談内容件数

	内 容	件数
1	福 祉 制 度	9
2	介 護	7
3	保 育・子育て	2
4	健 康・医 療	3
5	就 学・就 労	1
6	家 計・生活費	1
7	住 宅	3
8	社会参加・地域活動	5
9	ひきこもり	1
10	そ の 他	29
合 計		61

3 生活福祉資金の貸付

低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、資金貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援しました。

相 談 件 数	延べ82件	
今年度貸付件数	0件	
貸 付 期 間 中	0件	
償 還 中	福祉資金	1件（緊急小口資金）
		1件（住宅移転経費）

4 生活福祉資金(コロナ特例貸付)フォローアップ事業

新型コロナウイルス流行時に資金貸付を受けた借受人に対し、償還方法の相談支援を行いました。また、返済が困難な借受人に対しては、償還免除や猶予の手続きに伴う支援を行いました。

相 談 件 数	延べ 195件
債 権 件 数	533件
借 受 人 数	344人
償還免除件数	37件（30人）
償還猶予件数	36件（29人）

5 臨時特例つなぎ資金の貸付

住居のない離職者の内、離職者を支援する公的給付や公的制度の申請を受理されている人に対して生活費の貸付を行う臨時特例つなぎ資金の申請はありませんでした。

貸 付 件 数	0件
償 還 中	なし

6 善意銀行の運営

地域福祉の増進に寄与したいという人々の善意の預託を受けて、福祉に欠ける方を対象として、その善意を効果的に活かし生活困窮者を支援しました。

今年度貸付件数	4 件	
令和 6 年度末時点 債権状況	債権額	178,000 円
	借受人数	9 名 (延べ 21 件)

7 高額療養費の貸付

医療費が高額のためその支払いに困窮する方に対し、資金を貸し付けることにより、療養の確保と経済的自立を助長し世帯の生活の安定を図りました。

貸付件数	1 件
貸付金額	136,542 円
償還中	なし

8 福祉サービス利用援助事業（かけはし）

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者などで判断能力が不十分な方を対象として、福祉サービス利用の手続きや預金通帳の預かり等を行うことにより、自立した生活を支援しました。

利用者（3/31現在）	11 人	新規契約件数	5 件
生活支援員	6 人	契約後の支援件数	1,442 件

9 法外援護事業

行路病人等に対する近隣のJR駅までの切符代を支給し援護しました。

給付件数	1 件
------	-----

緊急一時食品提供事業

生活相談の中で、生活に困っている人（世帯）に対し食品を提供することで、生活の自立に向けた緊急一時的な支援をしました。

提供件数	70 件	提供者数	28 人
提供品数	44 品	提供数	1,646個

提供品	提供数（個）
米（1合）	211
アルファ米・パン・乾麺など主食品	88
汁物・缶詰・レトルト・ふりかけなどの副菜品	402
野菜・果物・その他（乾物など）	39
カロリーメイト	37
シリアル	41
菓子	515
飲料	307
非常食セット（災害用）	6

交通遺児就学奨励金給付事業

交通遺児に対する奨励金給付の申請はありませんでした。

給付件数	0 件
------	-----

社会福祉協議会会員募集

様々な福祉活動のために有効に役立てるため、地域福祉活動に賛同いただける町民の方々より会費を募りました。

会費区分	目安額	実績額
一般会費	1世帯当たり 300円	1,735,040円
賛助会費	1世帯当たり1,000円	5,000円
団体会費	1企業当たり3,000円	197,000円
合 計		1,937,040円

13 赤い羽根共同募金運動

すべての国民が助け合い精神を基調として善意を発揮し、福祉活動に有効に役立てるため募金運動を実施しました。

募 金 額	2, 4 9 5, 8 3 1 円
-------	-------------------

14 日本赤十字会員増強運動

国際的な人道活動や国内での災害救護活動等、赤十字の人道的使命に基づき国内外を問わず支援を必要とする人々に愛の手を差し伸べるため、社費募集を実施しました。

社 費 額	2, 6 8 9, 3 0 0 円
-------	-------------------

義 援 金 名	実 績 額
令和6年能登半島地震災害義援金	5 3, 1 6 3 円
令和5年7月7日からの大雨災害義援金	5 4 0 円
2 0 2 4 年台湾東部沖地震救援金	1 1 0 円
令和7年大船渡市赤崎町林野火災義援金	1 0 0, 0 0 0 円
合 計	1 5 3, 8 1 3 円

15 社協バザー

物品の有効活用、住民同士の交流、ひのうらセンター活用などを目的として開催しました。家庭にある休眠物などを住民から提供していただき、バザー（即売会）形式で販売し社協の自主財源の確保に努めました。

バザー物品募集	8/5 ～ 8/23（平日のみ）
バザー開催日	9/1

展示即売会	7 3 点	4 7, 0 0 0 円
持ち帰りコーナー（1人2点まで） 【募金箱設置分】	約 5 0 点	2, 9 3 7 円
売上金総額		4 9, 9 3 7 円

地域共生社会推進団体やボランティアグループ等による地域活動を支援するため、ひのうらセンターを開放し適切な管理運営を行いました。また、利用団体同士の情報共有や利用しやすい環境を整えるため、会議を開催しました。

・ 部屋の利用状況

	部屋	年合計(人)	月平均(人)
1階	研修室	2, 7 7 4	2 3 1
2階	多目的室(和室)	5 2 1	4 3
	ワーキング室	4 1 5	3 5
	ボランティア活動室	1, 0 6 4	8 9
	ミーティング室	6 9 0	5 8
合 計		5, 4 6 4	4 5 6

ひのうらセンター 利用団体説明会	開催日
	5/2

ひのうらセンター 利用調整会議	開催日	
	9/5	2/18

